
三回田んぼを耕す苦勞一三田苦勞須一

花淚

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

三回田んぼを耕す苦勞―三田苦勞須―

【Nコード】

N5182BA

【作者名】

花淚

【あらすじ】

もしこの世の起こる事全てが神の遊びだったら？

こないだの失敗も、さっきのキセキも…

全てが神の想いどおりだったら、従う？逆らう？それともただただ足掻く？

三田 苦勞須

一人の若い神がいた

その神の名は三田 サンタクロウス 苦勞須

若い神は笑う

毎日自分の手のひらで七転八倒する愚かな人を見下げ黒く、黒く笑うのだ。オモチャ

「今日はどんな奴を不幸にしてやろうか？」

そういつて小さい島国『日本』を見下げ1つのフィギアを親指と人差し指でつまんだ。

胸のところおきあがり沖上季 拳こぶしと書いてある。

私が察するところによるとここには世界の人間がフィギアのような人形になっている、そしてそのフィギアは現れたり、一度消え色のないフィギアが山ずみになっているところに現れたりしている。これが世に言う生、死というものなのだろうか？

「今日はコイツがターゲットだ、どこにでもいる平凡な男の子で毎日小学校に行くのが楽しみでたまらない少年…こいつが不幸になったらどうなるんだろーなア？ フツどうせいつものヤツと変わらないうあそこに行くことになるんだろうな、コイツくらいは俺を楽しませてくださいよ？」

あそこ行って三田は色のない山を見て、最後に沖上季のフィギアを睨んだ。

三田 苦勞須（後書き）

こんなの見てくださってありがとうございます！
できればコメントとか残していただけると嬉しいです！

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5182ba/>

三回田んぼを耕す苦勞－三田苦勞須－

2012年1月14日12時57分発行